

栄寿会同好会 「竹の会」発足のお知らせ

栄寿会京都支部 竹の会

玉井 敏夫

栄寿会京都支部の12番目の同好会として「竹の会」がスタートしました。

基本方針：栄寿会の社会貢献、地域貢献活動の一環として、竹をテーマとしたボランティア活動を行う。

最初は、荒廃竹林を整備して、景観のよい竹林を再生する活動を行うが、将来的には竹の有効利用や高度利用の研究などにも取り組む。

荒廃竹林の再生活動

長岡京市内でも、タケノコ農家の高齢化や人手不足により、竹林の手入が行き届かず、枯竹の散乱した竹林が増加している。景観の悪化と合わせてゴミなどの不法投棄場所ともなっている。

長岡京市役所を仲介者として、このような荒廃竹林を借りてボランティアで竹林整備、再生環境保全をおこなう。

長岡京市井ノ内坪井の1600㎡の荒れた竹林について、地主と整備の覚書を交わして、活動を開始した。また、ボランティア活動の基地として光明寺近くの村田製作所の土地を借用することで、覚書の締結をすませた。

当面の活動日程

(07年12月まで6回、枯損竹整理の活動が中心、これ以降は12月に計画)

9月 12日(水)、27日(木)

10月 12日(金)

11月 16日(金)、30日(金)

12月 14日(金) = 作業後 1-4月計画打合せ、忘年会

作業時間 午前10時 - 午後4時 昼食持参 のこぎりなど道具は各自準備

活動の体制

中核メンバー(福井、津村、玉井、小根田、奥西、清水、船越、中原、川井)でスタートし、栄寿会会員の中にメンバーを拡大していきます。

趣旨に賛同し、一緒に活動する栄寿会会員を募ります。

竹やぶの美観取り戻そう

村田製OBら活動

長岡京 数年かけ手入れ



放置されて荒れた竹林の整備を進める村田製作所OB

(長岡京市井ノ内)

美しい竹やぶの風情を取り戻そうと、村田製作所(長岡京市東神足)のOBでつくるボランティアグループが十二日、長岡京市井ノ内の竹林で活動を始めた。枯れた竹が目立つ場所を数年かけてきれいにしよう―と張り切っている。

長年手入れがされずに放置されてきたやぶ約千六百平方メートルで、市観光協会が運営する観光竹林にも近く、観光客誘致のためにも美観が重要な場所だ。

枯れて変色した竹と緑色の竹が交じったやぶはうっそうとしており、参加者九人は、大きな竹を次々に切り倒すなど黙々と作業をこなした。今後は森林ボランティアなどの経験があるメンバーらが月一、二回のペースで

活動する予定で、将来は竹の特性を生かした活用方法も考えたいという。

グループ代表の福井則夫さん(66)は「まだまだ先は見えないが、ちよつとずつ変わっていくのが楽しみでやりがいがある」と話していた。

(太田敦子)